

## 注目の科目

### 日本史学史

日本の歴史と文化について  
説明できる力を養成

歴史記録や人物などを具体的に学びながら、日本史学史をおおまかに理解。また、日本の歴史や文化について正確な知識を身に付け、合理的に考える力を養い、日本の歴史と文化を国内外に発信できる人をめざします。



### 外国史特講《東洋史》

中国と周辺諸国との関係を  
歴史的に学ぶ

古代から近代までの東アジアにおける外交を取り上げます。「中国と外国」をテーマに、殷周王朝の成立から、「西欧の衝撃」によって世界システムに組み込まれる清代後期までの中国と、周辺諸国の関係を通史的に学びます。

#### 歴史教育コース

- 平安時代における律令認識—惟宗氏を中心に—
- 宋代における兵制について
- 鎌倉時代の出産について
- 中世における駿河国富士大宮司家の研究
- 近世琉球における日系土族
- 国学における「やまと心」解釈の変遷
- 吉田松陰の欧米観
- 昭和恐慌期の百五銀行と川喜田久太夫

### 博物館資料論

博物館資料の収集・保存・整理・  
活用などについて学ぶ

博物館資料の成り立ち、資料の収集・保存・整理や活用方法、学芸員が行う研究とその問題点など、さまざまな機会に利用される博物館資料の取り扱い方法や留意点などについて、具体的な事例をあげて概説します。

### 日本宗教史

日本における仏教の歴史を  
多面的に考察し、理解する

日本宗教史上において、大きな役割を果たした仏教。インドから中国を経て、独自の変化を遂げながら日本へ伝来し、定着した過程を追うことで、我が国の仏教の歴史を教義・理論・文化の側面から理解していきます。



#### 文化財コース

- 古代日本の乳製品「蘇」について
- 古代における温泉利用の再検討
- 村上水軍と大山祇神社
- 室町期公武政権に関する一考察—一治罰院宣・繪旨を中心として—
- 伊勢国飯野・飯高郡の神宮領について
- 豊臣秀吉と北野大茶湯
- 和宮の研究—その行動と生活—
- 「子ども博覧会」の展開

### 国史学特講C I《近世》

宗教観・宗教意識の原型が固まった  
近世宗教を理解する

「近世宗教と伊勢信仰」をテーマに、神道・仏教・儒教といった宗教が併存し、混ざり合い、多様な姿を見せた近世宗教の展開について学びます。同時に、伊勢神宮やその鳥居前町、伊勢信仰への理解を深めていきます。

### 社会科・地理歴史科教育法 I・II

社会・地歴科教員に必要な  
実践的能力を身に付ける

この授業では、中学校社会および高校地理歴史科教員としての実践的能力を培います。春学期には、教材研究や授業の実践、学習指導案の作成方法などについての講義を行い、秋学期は、受講生による模擬授業を実施します。

古代：飛鳥時代～平安時代

遠藤 慶太 教授

中世：鎌倉時代～戦国時代

多田 實道 教授

岡野 友彦 教授

近世：江戸時代

松浦 光修 教授

谷戸 佑紀 助教

近現代：明治時代～現代

谷口 裕信 准教授

長谷川 怜 助教

東洋史

堀内 淳一 准教授

教育学・教育史

川口 雅昭 教授

### 最近の主な卒業論文のテーマ